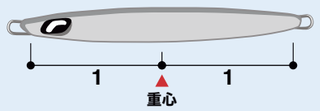
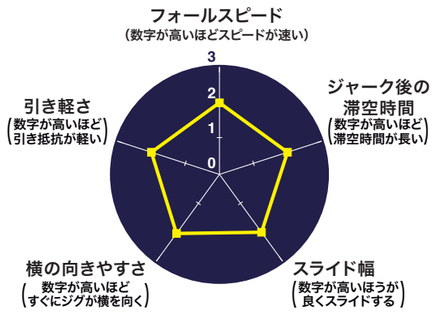
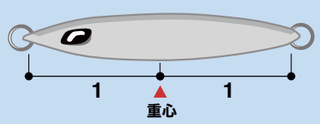
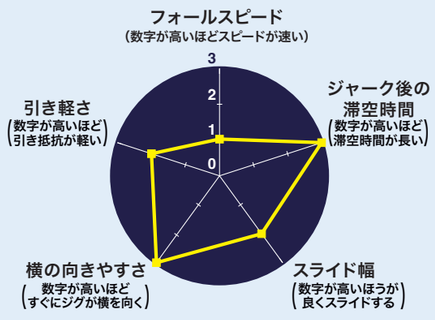
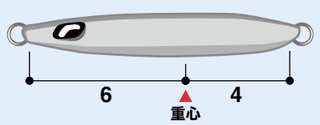
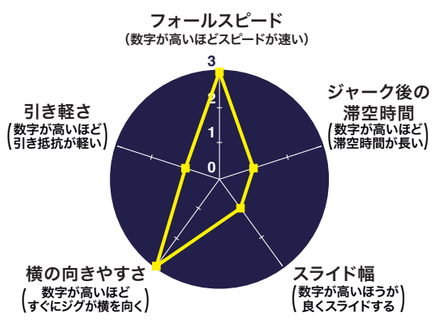


山本啓人が語る

OCEA サクラマスジギング ジグ選びのいろは

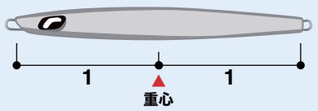
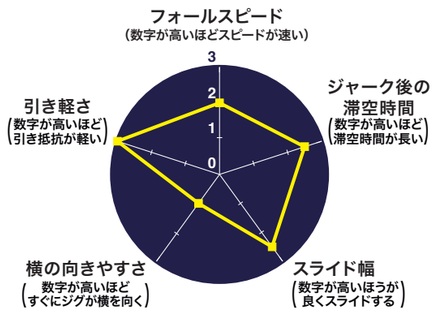
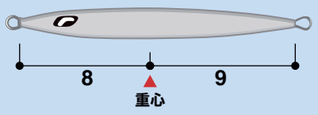
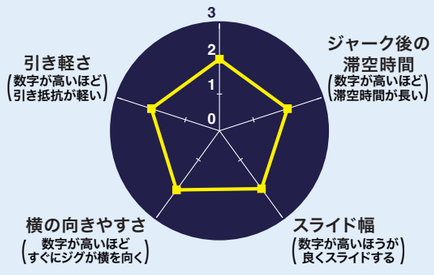
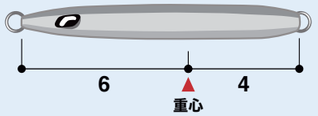
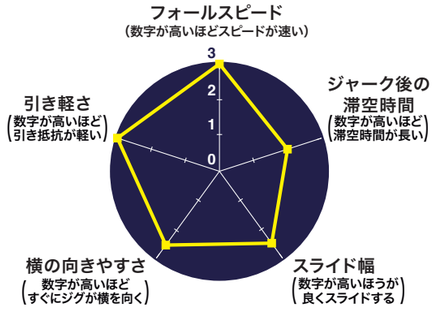
SHIMANO

サクラマスジグ ジグの系統	レーダーチャート	ジグの特徴 / 効果的なタイミング	重 量	おすすめのエリア	山本啓人Tips	
					一言アドバイス	使い方
CENTER SARDINE センターサーディン  サクラマスのパイロットジグ **センターバランス ショートジグ**		●これから使って！ パイロットジグ ●水平姿勢からのランダムフォール ●水押しが強く、サクラマスへのアピールが期待できる ●潮の速さは中速までで効果を発揮 （高速潮ではやや引っ張られるため、フォール能力半減） ●豊富なカラーバリエーション ●アングラーやタックルを選ばない、安定したアクション	135g	全てのエリア	25m以浅で使いやすい。 サクラマスが上ずっているとき。ポイントは積丹、恵山、網走、尻屋岬で出番多い。	思っているより強くしゃくってみてください。 その抵抗感がバイトチャンス！
			160g		ジャーク時には抵抗感を感じるが、 そこがバイトのキモ！ シマノのサクラマスジグの軸！	
			200g	特にベイトが大きい道東、潮が速い海峡エリア	ベイト（イワシ、ニシン）が大きいとき。 海峡の水深100mでバイトが出るとき。* *糸が引っ張られてジグがフォールしないなど、特殊な状況下で効果を発揮。使い方によって爆発力がある。	
SARDINE WAVER サーディンウェーバー  スローの本命 **センターバランス ショートジグ**		●ショートジグのスローな動き、スローフォール、フラッシングフォールを得意とするジグ ●大型サクラマスの実績が高い ●一方、速い潮は苦手。その場合はウェイトを上げるなどの工夫で対応可能 ●近年スローな誘い、スローなフォールに反応することも増えてきている ●これまでのような上げ上げのアクションで喰わない場合に有効打となる スローが苦手とされているサクラマスがスローへの反応が上向きであることから、新しい攻め手として	160g	全てのエリア	センターサーディンとはフォール速度とスライド幅で使い分ける！従来100g・130gだったが、近年トレンドに合わせてウェイトアップ。これがサーディンウェーバーで軸になるウェイト。	スロージギングをイメージした、長めのフォールを意識してみて！ 上げで誘ってフォールで喰わせるイメージです。
			180g		ショートシルエットの中間サイズ。良く捕食されている大羽イワシにはジャストマッチ。	
			200g	海峡エリア	本来スローフォールだが、ウェイトアップによりキレの良いミドルフォールを作り出せる。	
SIXSIDE シックスサイド  釣れないときの最終兵器 **リアバランス ショートジグ**		●極端に潮が速いとき、逆に極端に緩いとき ●極端に魚が喰わないとき ●ベイトが小さいとき ●特にバックスライドを好むとき （ストン、ではなく、泳ぎながらバックスライド） ●ハイアピールフォールが効くとき（6面体を活かして） ●ミディアムスピードの水平フォール ●ジャーク時のスライドを嫌うとき →ジャーク後はすぐに横を向き、サクラマスの視界から消さずに見せて喰わせる （横に消すのではなく縦に消すイメージ）	130g	北海道全域	リアバランスをフワフワ使うのはこれ一択！	弱、中、強でしゃくってその日のパターンを探ってみて欲しい。 弱い：バックスライドが入る 中間：ランダム 強い：水平フォール
			150g		サクラマスのど真ん中。 困ったらどこでも使ってみて。	
			180g	青森：北海道 7：2	北海道では、 ベイトが小さい恵山エリアで有効。	
			200g		パイロットではないが、海峡や潮が速いとき、二枚潮では必須。北海道では、ベイトが小さい恵山エリアで有効。	



山本啓人が語る OCEA サクラマスジギング ジグ選びのいろは

SHIMANO

サクラマスジグ ジグの系統	レーダーチャート	ジグの特徴 / 効果的なタイミング	重 量	おすすめのエリア	山本啓人Tips 一言アドバイス	山本啓人Tips 使い方
NEW SL SARDINE SL サーディン  ハイアピールのセンターバランス センターバランス セミロングジグ	 	●セミロング版センターサーディン ●ベイトサイズが大きいとき、ハイアピールが必要な状況で効果的 ●強い明滅と2段バックスライドで追わせて喰わせるハイアピールモデル ●薄いシルエットによる「消える→現れる」の明滅効果で追尾本能を刺激 ●大型サクラマス狙いでとくに高い実績 ●魚が沈黙する時間帯でも、突然スイッチを入れる爆発力を持つ ●抜けがよくスピニングタックルにもおすすめ！	130g 150g 180g 200g	全てのエリア	潮が速いと対空が長くなりすぎて喰わないので、そのときはウェイトアップを！ ど真ん中ウェイト！ 大振りベイトにベストマッチ。 フォールが早く、海峡でも使用可能！ 潮が速い状況のパイロットルアー。 ボリュームアップでビックサイズ狙いに。	大型狙いなら先発投入！ 「普通のジグで反応がない時間」に投入したい一本。 横を向けすぎず、 “斜め姿勢”でフォールさせバックスライドをだすのがキモ。 柔らかめのロッドを組み合わせたり、むしろ普段使うジグより重めを使うことで「喰う」アクションが簡単に出せる。
PEBBLE STICK ペブルスティック  元祖サクラマスジグ フロントバランス セミロングジグ	 	●スローフォールとナチュラルなアクションで喰わせる、元祖サクラマスジグ ●メロウドベイトには無類の強さ ●近年増えている「スローな誘い」「長いフォール」に反応する状況に特に有効 ●大型シルエットながらアクションを抑えた設計で、見切られるギリギリを攻略	120g 150g NEW 180g	恵山、浅い海域、潮が緩い状況 海峡など潮の早いエリアにも対応	ベイトが大きくて、おとなしいアクションが効くときはこいつが最強！ フォールが遅くて見切られてると感じたら180gの出番！それでも見切られるときはシックスライドの出番。	ペブルは 「ビャンビャン系ジャーク」 「ずっとふわふわジャーク」 よりも、緩急を付けた操作が有効。 早巻き→一瞬のフォールで「逃げるベイト」を演出してみて！
SIXRIDE シックスライド  ビッグベイトの本命 リアバランス セミロングジグ	 	●これまでシマノにはない、セミロングジグで誰にでも使いやすい ●ベイトが大きいとき（特にシーズン初期の魚がスレていないとき）のハイアピールアクションに反応するときに有効 例）羅臼、苫小牧、恵山一部 ●ミドル速度のフラッシング水平フォールからのバックスライド！が特徴 ●細くて抜けが良いので、ジャークの強弱によってはフロントへのスライドも可能 ●近年スローな誘い、スローなフォールに反応することも増えてきている ●ハイアピールのミドルフォールアクション ●リアヘビーで抜けが良いのである程度潮が速くても対応可能 ●スピニングタックルや、ブリにもおすすめ！	140g 160g NEW 190g NEW 220g	北海道全域、尻屋岬 全てのエリア 羅臼、苫小牧、津軽海峡（潮が速い場所）	140gは軽い方のベース。140g・160gの使い分けでその日のパターンを探って欲しい。釣れなかったら、もう一方のウェイトにローテしてほしい！他のジグで当たらないときに試して！ 際どいウェイト設定、160gは重い方のベース。140g・160gの使い分けでその日のパターンを探って欲しい。釣れなかったら、どちらかにウェイトローテしてほしい！他のジグで当たらないときに試して！ ビッグシルエットに反応が良いとき、ベイトサイズが大きいとき、極端に早いバックスライドに反応が良いときに投じて欲しい！ あとブリ！（サンマパターン）	スロージギングをイメージした、長めのフォールを意識してみて！ 上げで誘ってフォールで喰わせるイメージです。 140g、160gはゆっくりしゃくってみて欲しい。 引きが重いと感じたときは、敢えて、強くしゃくってみて！ 190、220gに関しては、あまり深く考えすぎず、ジグに素直にしゃくってみて。 しゃくりやすいテンポで使っていると勝手にサクラが持って行ってくれることが多い！